（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達サポートハウスたんぽぽ（放課後等デイサービス）

公表日　2026年　9月　12日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	活動内容に沿って部屋を分け、スペースは充分に確保できています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	0	一対一での支援を実施しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	施設内全てがバリアフリーではないですが、安全に活動できるよう環境調整をおこなっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	常に清潔な環境で過ごせるよう取り組んでいます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	利用児童の思いを尊重しながら、柔軟な対応をおこなっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	職員が周知できるよう工夫しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	年に１回評価表の記入をお願いし、それを基に改善をおこなっています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	月に１回以上、会議をおこなうと共に随時管理職に意見等を話せる環境を整えています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	第三者を設けていません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	月一回の所内研修の実施と共に、外部研修の参加を積極的におこなっています。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	支援プログラムについてはHPにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	定期的にアセスメントをおこない、支援計画・個別計画の作成をおこなっています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	職員全員が参加するケース会議をおこない検討と共通理解の場を設けています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	8	0	計画については全職員の周知がされています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	それぞれに共通のツールを使用しおこなっています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	個々に合わせた計画と支援内容が設定されています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	チームでおこなっています。	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	固定化されないよう、毎回違ったプログラムをおこなっています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	0	8	完全な個別支援を実施している為、集団活動はおこなっていない。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	職員全体で共有し検討や役割分担を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	8	0	その日の振り返りや情報共有を必ずおこなっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	日々の記録はその日のうちに記入し、定期的かつ必要に応じて検証・改善をおこなっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	年に2回の個別面談にてモニタリングをおこなっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8	0	支援内容はその都度検討し、組み合わせながら活動している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	自ら選択する場面を設定しつつ支援をおこなっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達管理責任者が必ず出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	関係機関と連携し支援をおこなう体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	保護者様を通じて情報の共有をおこなっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	情報共有をおこない連携する体制は整えている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	8	まだ対象児がいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	8	0	研修会への積極的な参加をおこなっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8	特に交流の場を設けてはいない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	市が開催している協議会（子ども部会）に、代表者が可能な範囲で参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	来所・帰所時に直接状況を伝えると共に、連絡帳を活用し伝達、共通理解をおこなっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	保護者様から要望があった際にはペアレントトレーニング等をおこなっている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に加え個別面談の場において説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	モニタリングをしっかりとおこない、ご本人とそのご家族のニーズに基づいて作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	8	0	その都度個別に説明をおこない同意の上、ご署名いただいている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	年に2回の個別面談に加え、必要に応じて相談の場を適時設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	0	ご家族様が参加できるイベントを定期的に開催している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情解決に向けた体制整備を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	Instagramやホームページのブログなどを活用し定期的に活動の様子や行事について発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	鍵付き書庫で個人情報等の書類を管理すると共に、シュレッターを使用し破棄する等留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	個々に合わせたツールを用いて意思の疎通を図っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	夏祭りなど地域の方が参加いただけるイベントを開催している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	それらのマニュアルについては、保護者様がいつでも閲覧できるようファイリングし保護者待機室にて保管している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	年2回以上の訓練の実施と所内研修を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	保護者様と連携を密にとり対応している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	アレルギーがある児に対しては、医師の指示書もしくは、保護者様が記入されたアレルギー表に基づき対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	適宜、計画に基づき訓練の実施をおこなっている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8	0	契約時もしくは大きな変更があった際には、説明をし理解を得ている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットが起こった際にはすぐに報告書を作成し、近日中に会議を開催し防止策、改善策を検討実施しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	年２回の虐待防止研修をおこなうと共に、セルフチェック表の実施をおこなっています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	身体拘束について契約時に充分説明をおこなうと共に、職員に身体拘束についての研修をおこなっています。	